

令和6年度京都府がん対策推進府民会議受診率向上対策部会 議 事 概 要

1 開会

2 議事

(1) 協議事項

桂敏樹氏を部会長に選出

(2) 報告事項

① これまでの部会の取組について（資料1）

- ・ 資料に基づいて、第3期京都府がん対策推進計画のたばこ対策に関する進捗状況について事務局から報告（資料1）
- ・ 資料に基づいて、健康増進法の対応状況について報告（資料2、3）
- ・ 資料に基づいて、健康対策課の取組について報告（資料4）
- ・ 資料に基づいて、各保健所の取組について報告（資料5）

② 令和6年度の各団体の取組について

- ・ 資料に基づいて、各団体から取組内容について報告（資料6）

(2) 意見交換

本日の報告を受けて、意見交換を実施

（主な意見）

- ・ どのようにわかりやすく、魅力的な印象を与えるか、周知するかが非常に重要と考える。
- ・ 詳細な情報を住民1人1人に提供することが必要であり、併せて、自分の地域でどのように伝えることが効果的か、特性を分析する必要があると考える。
- ・ FMやSNSなどのメディアを活用し、目で見ると、耳で聞く啓発は重要と考える。
- ・ がん検診だけでなく、健診について網羅的に啓発ができるとよいのではないかと考える。コロナ禍にワクチンの接種歴のアプリがあったが、そういったパーソナルヘルスレコードを構築できれば、効果的な受診率向上が見込めるのではないかと考える。
- ・ 地域ごとに課題があり、ターゲットが違う点を踏まえ、ターゲット毎の広報と、全体に向けた広報との2つの広報活動が必要と考える。
- ・ 受診率の高い地域は「受けなければいけない」といった風土がある。そういった強力な啓発ができればと考える。
- ・ 個別勧奨においても若い方はSNS、高齢になるに伴いハガキで勧奨等、年代に合わせた勧奨が必要ではないかと考える。
- ・ WEB予約システムは非常に効果的であるという話を聞く、そのような仕組みを行政で御準備をいただければ、受診率向上に繋がると感じた。

3 閉会